

**銅・アルミレポート**

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎

9月の銅の概況及び10月の見通し (3)

	予想レンジ	
LMEセツル	7,900-8,300ドル	▲
建値	117万円-129万円	●
為替	145円~150円	レンジ内

(1か月間TTM)

### 国内概況まとめ

#### 【自動車生産】

生産動態統計によると8月の自動車生産台数は前年比+10.1%の60万7,639台。輸出は前年同月比+24.3%の33万5,847台。

#### 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると9月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+12.5%の27万2,208台。

内訳は乗用車が+12.4%、貨物が+12.3%、バスは+51.6%。

#### 【住宅着工戸数】

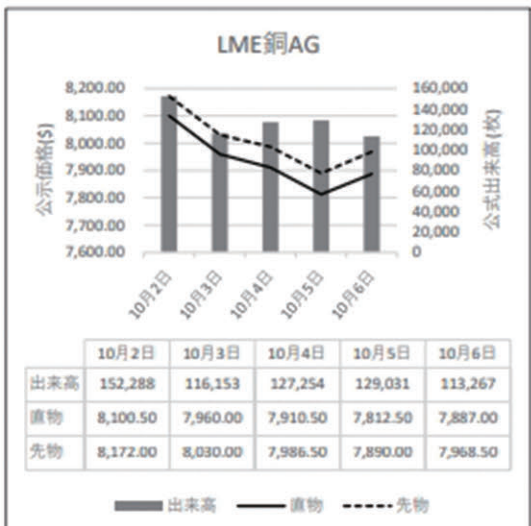
8月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比9.4%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.5%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は70,399戸。前年同月比9.4%減、3か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は5,530千㎡。前年同月比10.5%減、7か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では812千戸。前月比 4.5%増、3か月ぶりの増加。

### LME公式値週間推移 10月2日~10月6日(現地)



### 【伸銅品生産】

8月伸銅品生産量速報値は4万5,630トン、前年同月比15.4%減少した。20か月連続マイナスとなった。

14品目中12品目が前年同月実績を下回った。プラスは、好調な銅線と、2か月続けての黄銅板である。

引き続き半導体は、車載向けの需要が良いが、それ以外の回復が遅れている。コネクタは、車載向けで在庫消化が進んだが、その他産業用や民生用の在庫消化が遅れている。スマートフォンは、9月に発売した米国アップルのiPhoneの新モデル向けが好調だったが、それ以外の機種向けが伸びて来ない。エアコンは、ルームエアコンが伸びず、パッケージエアコンも工事等の遅れで回復力が弱い。ガス機器関連も住宅着工件数が少なく、リフォーム向けもやや低調になってきた。

**銅条**：同比12ヶ月連続マイナス。半導体は、車載向け以外が低調である。端子コネクタは、自動車向けがティア1のメーカーまで在庫調整が進んだが、ティア2、3の在庫がまだ残っている。民生用のコネクタは在庫底打ち感が見えてきた。ただ、在庫が底打ちしても、世界的に経済の先行き不透明で、銅条の回復まで今暫く時間がかかるものと予想している。

**黄銅棒**：同比20ヶ月連続マイナス。住宅設備向けは、ガス機器、給湯機器とも引き続き低調。水栓金具は非接触タイプだけ伸びている。半導体設備向けのバルブは少し回復気味である。自動車向けは在庫消化待ちである。

(次号へつづく)

### 銅・非鉄金属地金全般

## 株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

